

取扱説明書

電動裁断機
CE-4810・CE-48FA

この度はMAITZ製品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
本機をお使いになられる前に必ずご一読頂き、
安全・快適にご愛用くださいますようお願い申し上げます。
又、この取扱説明書は製品と一緒に大切に保管ください。

MAITZ[®]

<安全はマイツのこころ>

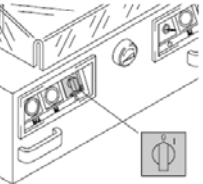
< 目 次 >

1	安全にお使いいただくために	P:3
2	製品構成（付属品）	P:4
3	部品図	P:4
4	設置と準備	P:5
5	設置場所の注意（必ずご確認ください）	P:5
6	操作方法	P:6
	1) 裁断準備	
	2) 寸法あわせ（機種別寸法調整）	
	3) 用紙のセット	
	4) 用紙の固定と安全装置の解除（機種別紙押操作）	
	5) 裁断	
	6) 用紙の排出	
7	日々のメンテナンス	P:8
	1) 裁断刃・受木は消耗品です。	
	2) 給油、ネジの緩みのチェック	
	3) 安全検査	
8	裁断刃交換・調整	P:9
	1) 裁断刃の位置を初期設定する①	
	2) 裁断刃を途中で停止させる	
	3) 裁断刃の位置を初期設定する②	
	4) 裁断刃を上上げる	
	5) 替刃交換工具を取り付ける	
	6) 裁断刃を取り外す	
	7) 替刃専用工具に裁断刃を付ける	
	8) 裁断刃を装着する。	
	9) 裁断刃を固定します	
	10) 裁断刃の調整①	
	11) 裁断刃の調整②	
	12) テスト裁断及び微調整	
9	テンキー操作方法 (CE-48FA)	P:12
	1) 各部名称	
	2) 初期設定（電源を入れる毎）	
	3) 様々な寸法設定方法	
	・ マニュアルゲージを使用	
	・ テンキーを使用	
	・ メモリーモード	
	・ プログラムモード	
	4) 用紙の排出	
	5) その他	
10	困った時には	P:16

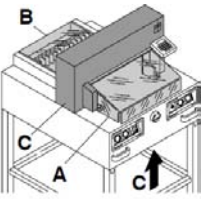
1 安全にお使いいただくために



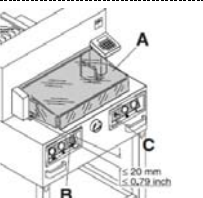
本機は一般的な用紙の束を所定の寸法に裁断する用途向けに設計されております。又、「一人での操作」を基準として構造設計されております。



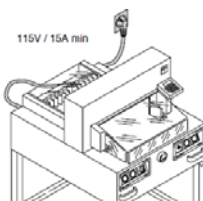
裁断刃或いは受木の交換等の際には、必ずメインスイッチをお切りください。



安全装置・安全保護装置等を取り外しての操作は絶対に行わないでください。
(A) フロントカバー
(B) リヤカバー
(C) メカカバー及び底板。

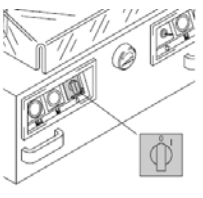


本機を操作される前と裁断刃の交換をされた場合は
(A) フロントカバーの位置 台盤との隙間が20mm以下
(B) メインスイッチ
(C) キーシリンダーの状態が正常であることをご確認ください。

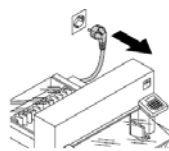


電源コードは必ず単相コンセントに接続してください。

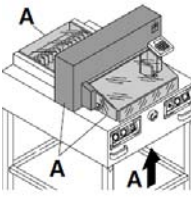
定格電圧：100V



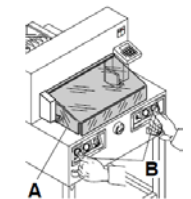
長い間ご使用になられない場合には、メインスイッチを「0」に合わせておいてください。又、電源コードのプラグもコンセントから抜いておく事をお勧めいたします。



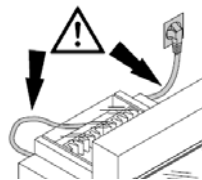
本機の修理や保守点検、及びカバー等を外しての調整作業の際には、必ずコンセントからプラグを抜いて行ってください。



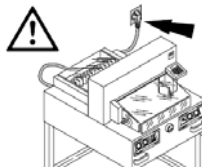
機械を操作される方の安全性を確保する為に、考えられる全ての構成部位には安全カバー (A) を装着してあります。



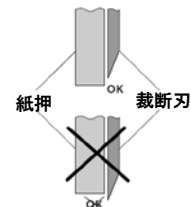
裁断作業の安全性は、フロントカバー (A) とカットボタンの両手操作方式 (B) により確保されております。



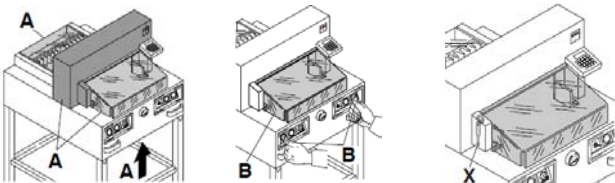
電源コードは、熱を発生する場所油分が付着するような場所或いは鋭利な機材や什器から離れて配線してください。



電源コードがしっかりとコンセントに接続している事をご確認ください。



裁断刃の交換・調整を行う際は左図の様に裁断刃が紙押より下にならないように十分注意して行ってください。



- (A) ご使用前には安全装置が完全な状態である事や正常に作動する事を必ず点検ください。
- (B) フロントカバーが完全に閉じられている場合のみ裁断機能が働きます。と同時に両手操作方式の安全装置が機能して裁断が可能になります。
- (X) もしフロントカバーが自然に閉まってしまうようであればガスダンパーを交換する必要があります。

- ・ 上記内容及び本機の操作方法や安全に関するマニュアルの内容が十分ご理解頂けない場合には本機を操作することは絶対にしないでください。
- ・ 改造等は決して行わないでください。

■安全にお使いいただくために（続き）



裁断機をお使いになる前に必ずこの取扱説明書を良くお読みになり、安定した場所にて安全な操作をされますように、各種注意事項をご理解の上、作業を行ってください。
※この取扱説明書は製品と一緒に大切に保管して下さい。



機械はお子様の手の届かない場所に設置してください。尚、お子様には決して機械の操作をさせないでください。



裁断刃の下にはいかなる場合でも決して手を入れないでください。クリーニングやメンテナンス作業でどうしても刃や受木の部分に手指を近づける場合には電源をお切りになり、尚且つ裁断刃が上部に収納されていることを確認してから作業を行ってください。



裁断刃には決して直接、身体（手・指等）を触れないでください。裁断刃を取り出す場合や運搬する場合には、必ず専用の保護ケースか十分な安全性が確保できる保護容器に収納してください。又、予備の替刃を保管する場合にも上記と同様に収納し、尚且つ十分な安全性が確保できる場所に保管して下さい。



この裁断機は、普通紙（上質コピー用紙64g/m²）を任意の寸法に裁断する目的で設計・製造されておりますので、硬質の素材や木片・金属片等のようなものは絶対に裁断しないでください。身体の怪我、裁断機の故障・破損の要因になります。

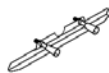
2 製品構成（付属品）



専用台



棚板



替刃交換工具

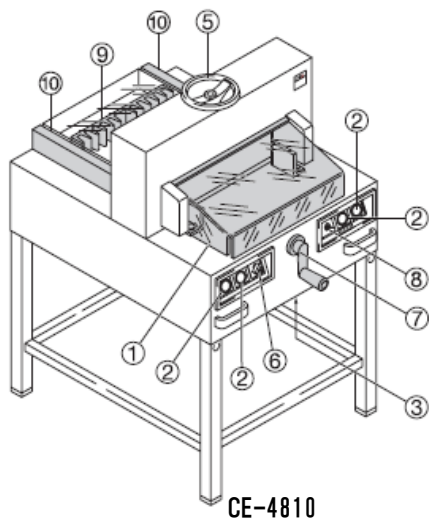


ジョギングエイド

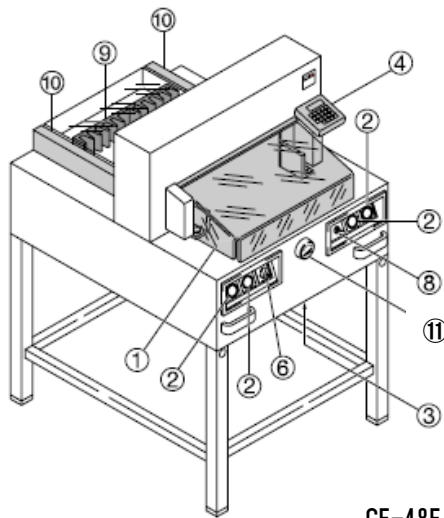
- ・工具箱
- ・カギ（2本）

- CE-4810のみ
- 〔 ・紙押ハンドル
 - ・クランクハンドル

3 部品図



CE-4810



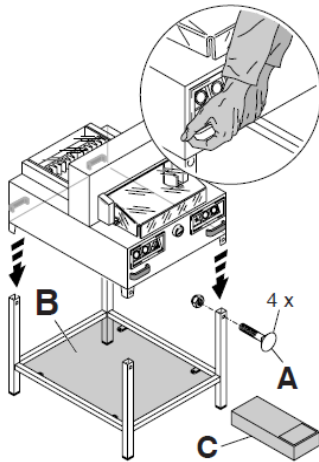
CE-48FA

- ①フロントカバー
- ②カットボタン（48FAは紙押ボタン付）
- ③プロテクタースイッチ
- ④テンキー（48FAのみ）
- ⑤紙押ハンドル（4810のみ）
- ⑥メインスイッチ
- ⑦クランクハンドル（4810のみ）
- ⑧キーシリンダー
- ⑨移動定規（バックゲージ）
- ⑩当枕
- ⑪マニュアルゲージ（48FAのみ）

カギの差込み方法

ギザギザ面を下にして差込んでください。
逆に差込みますと、
シリンダーが破損いたします。

4 設置と準備



① 専用台等の付属品を取出します。

② 裁断機本体を木製パレットから持上げ、専用台の上に乗せます。



裁断機本体で200kg前後ありますので、屈強な男性4人程度で図のようにニギリをしっかり持って裁断機裏面から出ている差込み口を専用台の脚の中に差込む様にして設置します。

③ 付属のネジ (A) を使用して、裁断機本体と専用台を固定します。ネジは工具箱 (C) の中に入っております。

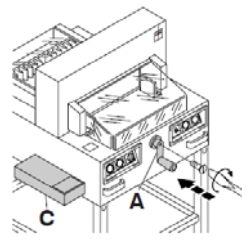
④ 棚板 (B) を木製パレットから取出して、専用台にセットします。
(棚板は裁断機本体の下にあります。間違っても処分しないようご注意ください。)

⑤ 電源コードを差込みます。

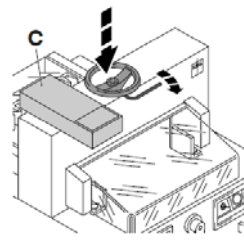


本機は裁断時に大量の電力を必要とします。電源コードは安定した電力供給が可能な場所に差込んでください。
(タコ足配線は絶対に行わないでください。)

(GE-4810のみ)



★クランクハンドルの取付
工具箱 (C) からクランクハンドル (A) を取出し、左図の様に取付ます。



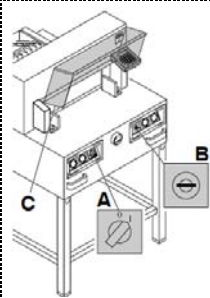
★紙押ハンドルの取付
紙押ハンドルを左図の様に押込み、六角レンチ (工具箱に入っております) にて固定します。

5 設置場所の注意 (必ずご確認ください)

- ・ 本機は200kg前後の重量があり、且つ裁断時に大きな振動が発生します。不安定な場所での使用は絶対に行わないでください。又、整備等の必要性から四方に十分なゆとりのある場所での設置をお勧めします。
- ・ 湿気、ホコリ等が発生する場所での使用は避けてください。尚、本機及びコンセント付近の汚れは、定期的に清掃してください。
- ・ 本機は裁断時大きな電力を使用します。付近にパソコン等の電源機器がある場合、データや基盤等の破損事故が発生する場合がございます。ご使用になられるコンセントを良くご確認頂き、単独 (单相) でのコンセントをお使いください。
- ・ 本機は内部に多量の油分を使用しております。長期間未使用の場合、又寒い場所にてのご使用の場合、油分が固化し動作不良を起こす場合がございます。常温に保たれる場所への設置を強くお勧めすると共に万が一動作が緩慢になった場合は、室温を温かくしてから一、二度ゆっくり作動させてからご使用ください。
- ・ 本取扱説明書及び付属品 (替刃交換工具・工具箱等) は常に本機そばに保管しご使用時に於いて、いつでも確認できるようにしてください。
- ・ 本機の操作は専任の管理責任者にて一人にて行ってください。管理責任者以外の方のご使用、及び二人以上でのご使用は本機の故障の原因になると共に、怪我等の重大な事故に繋がる場合がございますので設置には十分管理できる場所をご利用ください。

6 操作方法

1) 裁断準備



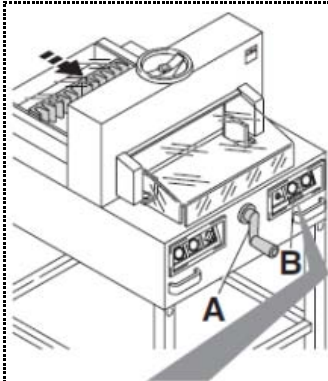
- (A) メインスイッチを「I」の位置に合わせます。
- (B) カギをキーシリンダーに差込み、右に回します。(カギの向きにご注意ください。)
- (C) フロントカバーを一番上まであげます。

2) 寸法あわせ

- ・裁断を行いたい寸法位置へ移動定規を動かします。
CE-4810 → CE-4810寸法調整へ
CE-48FA → CE-48FA寸法調整へ
- ・カットランプ
簡単に裁断の目安をつけることが出来る便利な機能です。
電源を入れますと裁断刃の降りる位置に自動的に照射されます。
(簡易位置ですので正確な裁断を行いたい場合には、寸法調整をご確認ください)

機種別寸法調整

CE-4810寸法調整



正面クランクハンドル(A)を回転させる事で移動定規を動かす事が出来ます。

電源を入れますと寸法表示パネル(B)が(C)又は(D)の様に回転致します。

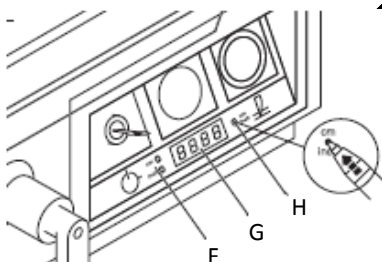
(E)の様に寸法(cm)が表示されるまでクランクハンドルを回します。(初期位置)
(C)の場合：右回転
(D)の場合：左回転

その後、ご希望の裁断寸法になるまでクランクハンドルを回し移動定規を動かします。

(紙押ハンドルが解除されている事を必ずご確認ください。)

尚、電源を切る度に寸法表示パネルはリセットされます。リセットされた場合は再度上記の通り再設定が必要となりますが短期間の場合キーシリンダーからカギを抜くのみでメインスイッチはONのままにしておけば寸法表示パネルのリセットはされません。

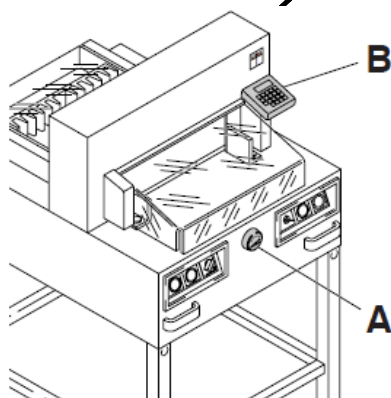
寸法表示パネルの説明



- (F): 寸法単位案内 (cm又はインチ)
(G): 寸法表示パネル
(H): cmインチ切替SW

(H)の切替SWを押す事でcm/インチの切替が可能です。

CE-48FA寸法設定



マニュアルゲージ(A)又はテンキー(B)を使用する事により移動定規を動かせます。

どちらも使用するためには初期設定が必要です。

テンキー部のSTARTボタンを押す事により移動定規が動き出し

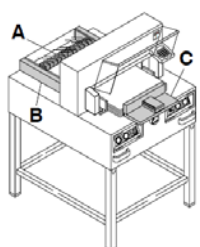
初期位置である45cm(17.72インチ)にて停止し、

寸法表示パネルにその寸法が表示されます。

尚、電源を切る度に寸法表示パネルはリセットされます。リセットされた場合は再度上記の通り再設定が必要となりますが短期間の場合キーシリンダーからカギを抜くのみでメインスイッチはONのままにしておけば寸法表示パネルのリセットはされません。

CE-48FAのテンキー部の詳細につきましては12ページの「テンキー操作方法」をご確認ください。

3) 用紙のセット



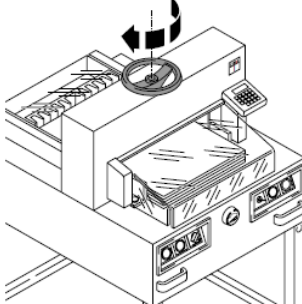
裁断を行いたい用紙を移動定規 (A) と当枕左部 (B) にしっかりと押付けます。その際、ジョギングエイド (C) を使用して頂きますときれいに揃える事が出来ます。用紙のセットを丁寧にやる事でより正確な裁断を行う事が出来ます。

4) 用紙の固定と安全装置の解除

- ・裁断時に用紙がズレない様、紙押を動かします。
CE-4810 → CE-4810紙押操作へ
CE-48FA → CE-48FA紙押操作へ
- ・フロントカバーを閉めます。
フロントカバーが少しでも浮いている場合は安全装置が解除されず裁断が出来ません。しっかりと最後までお締め下さい。

機種別紙押操作

CE-4810紙押



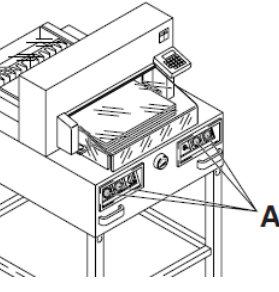
CE-4810は機械上部の紙押ハンドルを回す事により紙押を上下させて、紙を押えます。

右回転：下げる
左回転：上げる





押え方が弱い場合裁断時にズレが生じますのでご注意ください。

! 紙押は裁断毎に必ず解除してください。紙押をしたまま移動定規を動かしますと故障の原因となります。

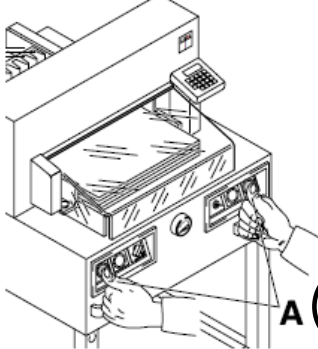
CE-48FA紙押



CE-48FAは紙押を電動で行います。その際紙押のみ又は裁断と同時の移動を選ぶ事が可能です。カットボタン&紙押ボタン (A) の操作で行います。

左	+	右	=	紙押のみ下げる。
				
		+		紙押を解除する。
		+		裁断と同時に紙押を下げる。

5) 裁断



本機両端にある二つのカットボタン (A) を「一人で両手を使用して同時に」押します。

操作は必ず一人で行ってください。(怪我等の事故の危険性が高まります。)

押し続けている間裁断刃が降り、一番下の位置で自動的に停止します。

手を離すことで、再び裁断刃が最上部まで自動的に上がります。

6) 用紙の排出

紙押を解除し、用紙を取出します。(機種別紙押操作参照)

CE-4810 → クランクハンドルを時計回りに回して用紙を排出します。

CE-48FA → 15ページ「3) 用紙の排出」を参照ください。

!

裁断刃の下に手を入れて用紙を取出す事は絶対におやめ下さい。



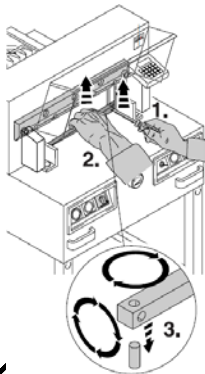
裁断時は裁断刃・駆動部のそばに、手や体が無いことを確認してから動かして下さい。裁断時は周りに人が居ないことを確認し、必ずお一人で動かして下さい。注意事項を必ずお守りください。寸法あわせ、用紙のセットを慎重に行うことによって、寸法ズレが起こりにくくなります。

7 日々のメンテナンス

1) 裁断刃・受木は消耗品です。

裁断刃 . . . 裁断を繰り返す毎に裁断刃は劣化、摩耗していきます。切残りが発生したらすみやかに裁断を中止し、受木の交換又は裁断刃の交換・研磨を行ってください。研磨は複数回行う事が可能ですが、研磨後の刃高が83mm以下の場合装着しても裁断する事が出来ませんので新しい裁断刃への交換が必要となります。

受木 . . . 裁断刃同様、裁断を繰り返す毎に受木も劣化、摩耗していきます。切残りが発生したらすみやかに裁断を中止し、受木の交換（面の交換）を行ってください。

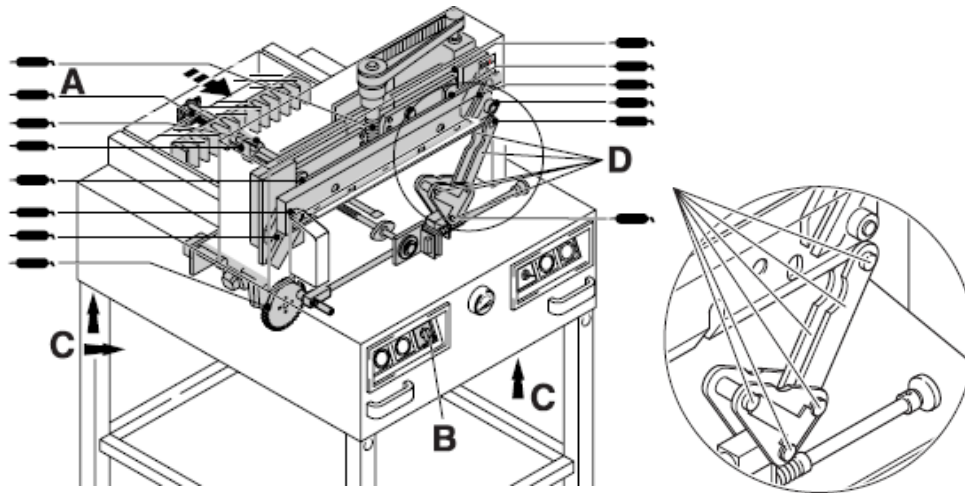


- 1, マイナスドライバー等を受木の穴に押し込みます。
- 2, そのまま上に持ち上げて取ります。
- 3, 受木は1面で2箇所使用する事が可能です。（4面8箇所）使用していない面を上にして、裁断機から出ている棒を受木の穴に差込んでセットします。

左図：受木の交換方法

2) 給油、ネジの緩みのチェック

● = 給油箇所（工具箱に入っているグリース又は非樹脂性質の物をお使いください。）

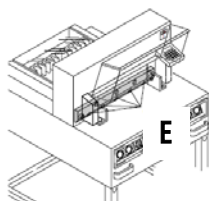


給油の際はメインスイッチ(B)を切り、給油部のホコリ・汚れ等を除去し裁断刃に決して触れないよう十分注意して行ってください。

メカカバー・底板(C)等を外して左記の図を参照に給油を年2回程度行ってください。

移動定規駆動部(A)は毎週給油を行ってください。

裁断刃の駆動伝達部(D)は給油以外にボルト等のチェックを行ってください。



刃止めネジ(E)は裁断を繰り返すうちに緩みが発生します。

緩んだまま裁断を続けられますと、故障又は重大な怪我の原因になるため

ご使用前には必ずチェックを行ってください。（最低週1回程度）

3) 安全検査

本機は欧州の国際安全基準や日本国の定める安全基準又は(社)産業安全技術協会等の公的機関による各種安全基準に準拠して製造された製品でございますが、ご使用の頻度又は年数により機械も疲労して参ります。弊社と致しまして、最長でも五年に一度は安全検査又はオーバーホールをして頂く事をお勧めいたします。

8 裁断刃交換・調整

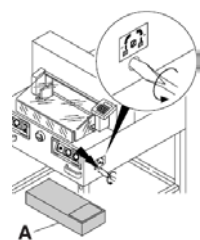
受木の交換等を行っても切残りが発生する場合は、裁断刃の交換・研磨が必要となります。交換の際は、下記手順・注意事項を良くご理解頂いた上、作業を行ってください。



怪我にご注意ください。

裁断刃は大変鋭利になっております。交換時の取り外しや持ち運びの際には必ず緩衝材等で保護してください。尚、裁断刃の交換は熟練した管理責任者が行ってください。

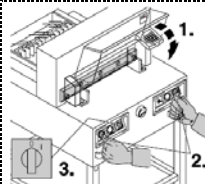
1) 裁断刃の位置を初期設定する①



工具箱(A)の中に入っているマイナスドライバーを使用し本機右側面にある裁断刃上下調整ネジを反時計回りに停止するまで一杯に回してください。

(この調整で裁断刃が機械的に一番上まで移動します)

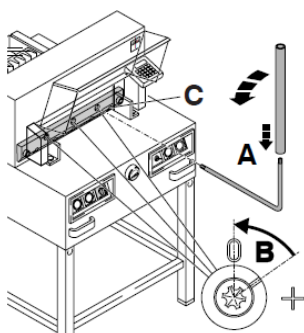
2) 裁断刃を途中で停止させる



1, フロントカバーを閉める。
2, カットボタンを押し、裁断刃を下げる。(離さない)
3, 片方のボタンを押したままメインスイッチをOFFにする。

以上の状態で裁断刃を途中で止められます。

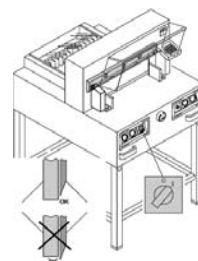
3) 裁断刃の位置を初期設定する②



フロントカバーを開けると裁断刃上部に3つの星型のネジが露出します。(エキセントリックネジ)専用レンチと専用パイプ(A)を使用し(B)の図のようにネジにある切込み部が"0"の位置になるまで反時計回りで回して下さい。

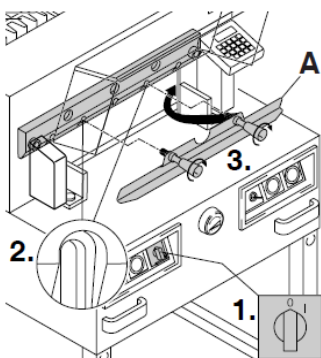
その後、右端の刃止ネジ(C)のみレンチとパイプを利用して取り外してください。

4) 裁断刃を上上げる



工具を取り外して(レンチ類)メインスイッチを入れ、裁断刃を上げます。(自動で動きます)

5) 替刃交換工具を取り付ける



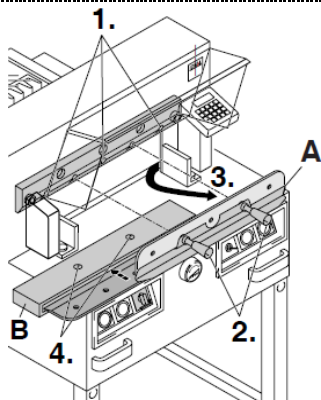
1, メインスイッチをOFFにします。

2, 裁断刃引出用のネジ穴に付いている刃止ネジ2本を取り外します。(図のようにネジ穴が下に突き抜けている左から2番目と4番目のネジになります)

3, 上で外したネジ穴に替刃交換工具(A)を差込み、工具のグリップを回してしっかりねじ込みます。

ねじ込みが緩いと、残りのネジを外した時に裁断刃が落下し大変危険な状態になりますので、確実にねじ込んでください。

6) 裁断刃を取り外す



1, 残り2つの刃止ネジを取り外します。

2, ねじ込んだ替刃交換工具(A)のグリップをゆっくり緩めます。

3, 裁断刃が下に降ろせるようになるので、注意しながら下に降ろし手前に引き抜きます。

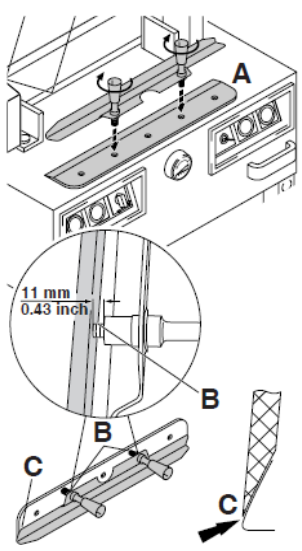
4, 取り外した裁断刃はすみやかに替刃ケース(B)又は安全の確保できる容器の中にしっかりと収納してください。



警告

付近に人がいない事を確認し、裁断刃を本機の台の上から離さずに交換・収納作業をしてください。台の上から離れますと、替刃交換工具より裁断刃が外れてしまった場合、重大な怪我等の事故に繋がる危険がございます。

7) 替刃専用工具に裁断刃を付ける



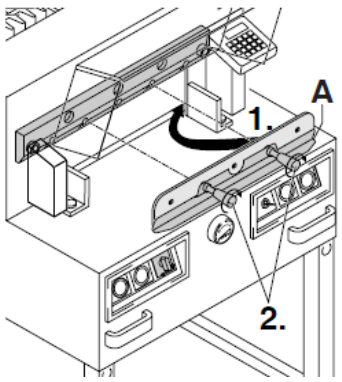
新しい裁断刃(A)に替刃交換工具を取付ます。

グリップをねじ込む際、最後までねじ込むのではなく図(B)の様に11mm程度の隙間を開けるようにしてください。
(裁断刃を本体に装着させられる程度)

あまり隙間を持たせると、裁断刃落下の事故原因になりますのでご注意ください。

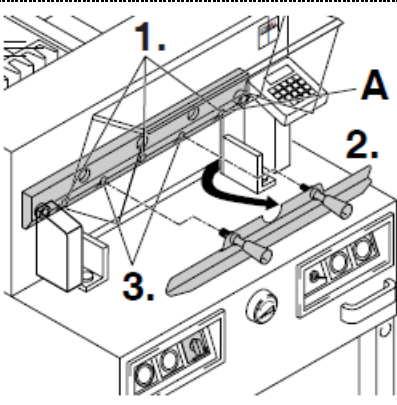
尚、裁断刃を替刃専用工具に装着した時専用工具から裁断刃の刃先がいかなる状況でも飛び出さない事をご確認ください。

8) 裁断刃を装着する。



1. 替刃専用工具(A)に装着された裁断刃を刃当板下に置きます。
2. そのまま上に持ち上げ、下へ抜けているネジ穴にグリップ(B)を差込み、締め付けます。

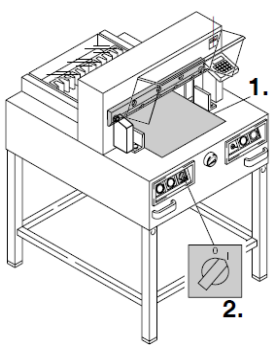
9) 裁断刃を固定します



1. 見えているネジ穴(左から1番目と3番目)に刃止ネジを軽く締付けます。
2. 替刃交換工具のグリップを緩め、工具を取り外します。
3. グリップが装着されていたネジ穴(左から2番目と4番目)に刃止ネジを軽く締付けます。

最後にフロントカバー(A)を閉めメインスイッチの電源を入れ、「2) 裁断刃を途中で停止させる」の項を参照しながら裁断刃を一番下の位置で停止させ、右端の刃止ネジを軽く締付けます。

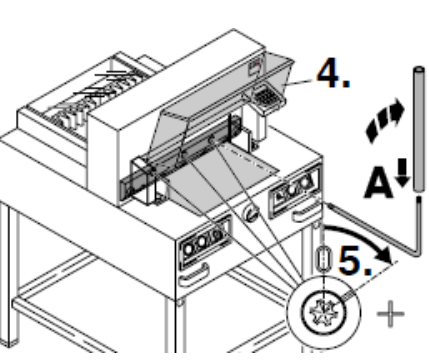
10) 裁断刃の調整①



1. 使用した全ての工具類を本機から取り除き裁断幅一杯の長さ(480mm)の紙をセットします。
2. メインスイッチをONにします。

「2) 裁断刃を途中で停止させる」の項を参照し裁断刃を一番下の位置で停止させます。

11) 裁断刃の調整②



4. フロントカバー(A)を開けます。
5. 裁断刃上部にある3つの星型のネジ(エキセントリックネジ)を専用レンチと専用パイプ(A)を使用し時計回りに締付けます。その際、裁断刃全体でしっかりと用紙が裁断できるまで締付けます。

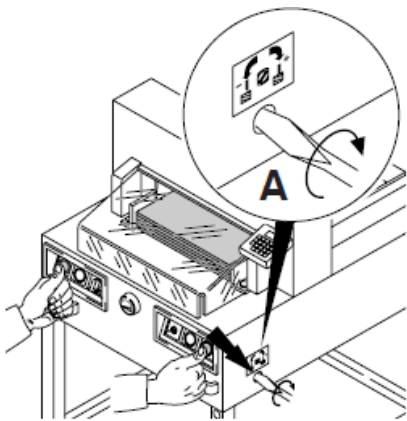
注) 裁断刃は常に受木に対して平行でなければなりません。切れ残り及び動作不良の原因となります。

注) 裁断刃を受木に対して、あまりに深く食い込ませないでください。動作不良の原因となります。

注) 裁断刃が紙押から出ないように調整してください。怪我等の重大な事故の原因となります。

最後に全ての刃止ネジ(5本)をしっかりと締め付けます。

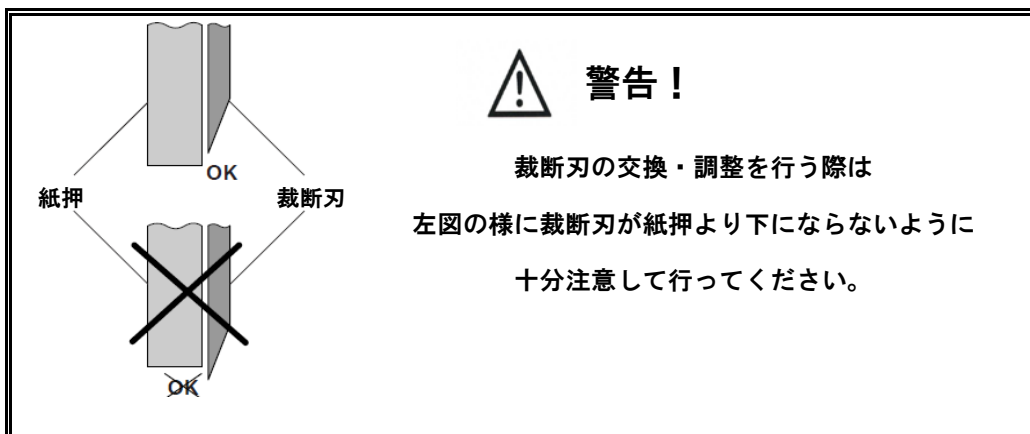
12) テスト裁断及び微調整



可能な限り大目の用紙をセットし裁断テストを行います。

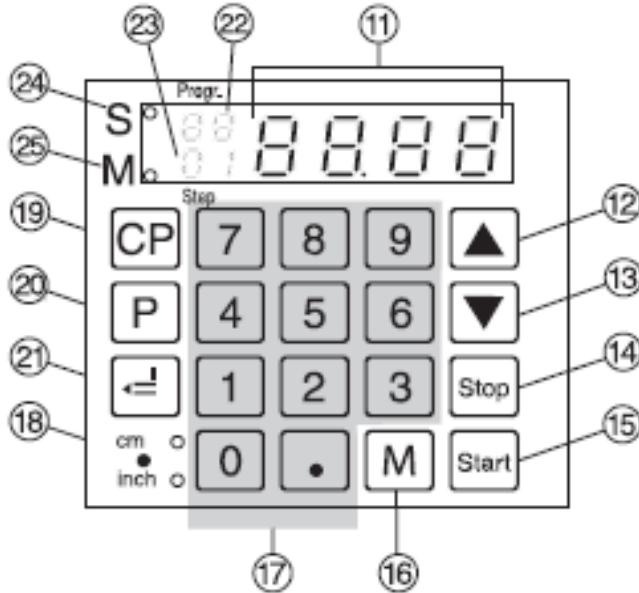
その際切れ残りが出た場合は、本機右側面の裁断刃上下調節ネジを1/4回転づつ時計回りに回して、切れ残りが無くなるまで裁断刃を下げてください。

その際、裁断刃をあまりに深い位置にセットしすぎますと動作不良・裁断刃の破損・裁断刃の摩耗を早める等の原因となりますのでご注意ください。

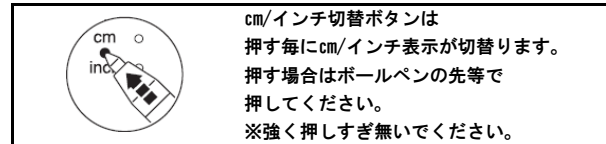


9 テンキー操作方法 (CE-48FA)

1) 各部名称



- 11, 寸法表示パネル
- 12, 〔・プログラム選択ボタン (上)
・移動定規移動ボタン (標準21cm位置)
- 13, 〔・プログラム選択ボタン (下)
・移動定規移動ボタン (標準10.5cm)
- 14, 「STOP」ボタン
- 15, 「START」ボタン
- 16, メモリーボタン
- 17, テンキーボタン
- 18, cm/インチ切替ボタン
- 19, プログラムクリアーボタン
- 20, プログラムボタン
- 21, エンター (入力) ボタン
- 22, プログラムナンバー表示パネル
- 23, プログラムステップ (工程) 表示パネル
- 24, テンキー裁断モード表示ランプ
- 25, メモリー裁断モード表示ランプ



2) 初期設定 (電源を入れる毎)

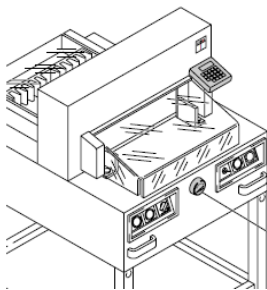
寸法表示パネル (11) は電源を入れる度に初期設定を行う必要があります。
電源を入れた後に「START」ボタン (15) を押してください。
移動定規が自動的に動き出し、45cm位置にて停止し、寸法表示パネルにその寸法が表示されます。

3) 様々な寸法設定方法

CE-48FAは様々な方法で寸法を設定する事が出来ます。
最適な方法を選択して頂く事により、快適な作業を行う事が出来ます。

マニュアルゲージを使用	簡易的に素早く裁断を行うのに便利です。
テンキーを使用	正確な寸法を行うのに便利です。
メモリーモード	同じ寸法で用紙を連続で裁断するのに便利です。
プログラムモード	様々な工程を連続で裁断するのに便利です。 1~99までの工程を99種類登録する事が可能です。

・マニュアルゲージを使用



マニュアルゲージ (A) を回す事により、手で移動定規を動かす事が出来ます。

時計回し： 移動定規を前進させます。

反時計回し： 移動定規を後退させます。

カットラインと併用して頂く事により、より素早く裁断・より正確に裁断を行う事が出来ます。

・テンキーを使用

テンキーボタンに、裁断したい寸法を入力する事で0.1mm単位での寸法設定を行う事が出来ます。

例) 21.50cmにて裁断する。

- ① テンキーボタンを「2」「1」「.」「5」「0」の順で押す。(cm単位で入力します)
- ② テンキー裁断モード表示ランプ (24) が表示されている事をご確認ください。
- ③ 「START」ボタン (15) を押すと、移動定規が移動を始めます。
- ④ 移動定規が停止し、寸法表示パネル (11) に「21.50」が表示された事を確認して裁断してください。

※ 機械保護の為、移動定規は9cm以下に自動で移動しません。
9cm以下の寸法を設定した場合は、設定した寸法になるまで「START」ボタン (15) を押し続けてください。

・メモリーモード

同じ寸法で用紙を連続で裁断する事が出来ます。

例) 21cmの用紙を、3cmづつ裁断する。

- ① 裁断する用紙の寸法を入力し、移動定規を動かす。
テンキー操作 ・ 「2」 「0」 「START」の順で押す。
- ② メモリーボタン(16)を押し、メモリーモードにする。
- ③ メモリー裁断モード表示ランプ(25)が点灯します。
- ④ 連続で裁断したい寸法を入力します。
テンキー操作 ・ 「3」を押し。
- ⑤ 「START」ボタンを押すたびに移動定規が3cmづつ前進します。
- ⑥ メモリーボタン(16)を押すことで、メモリーモードを終了する事が出来ます。
メモリー裁断モード表示ランプ(25)が消えます。

※ 機械保護の為、移動定規は9cm以下に自動で移動しません。
9cm以下の寸法を設定した場合は、設定した寸法になるまで「START」ボタン(15)を押し続けてください。

※ メモリー裁断中に現在の寸法を確認したい場合は、「STOP」ボタン(14)を押ししてください。

・プログラムモード

様々な工程を連続で裁断する事が出来ます。

常に決まった作業をされる場合等、ボタンを押すだけで設定された寸法に移動していきますので、何度も寸法を入力する手間が省けます。

1~99までの工程を99種類登録する事が可能です。

登録方法

- ① プログラムボタン(20)を押します。
プログラムナンバー表示パネル(22)に「Pr」と表示されます。
 - ② 登録したいプログラムナンバーを入力します。
テンキーを使用し、01~99までの数字を選択して頂き入力します。
プログラムナンバー表示パネル(22)に入力した数字が表示されます。
 - ③ 裁断する寸法を入力していきます。(工程の入力)
テンキーを使用し、寸法を入力(用途に応じて、2種類の登録方法があります。)
 - ・ エンターボタン(21)を押して登録
又は
 - ・ 用紙排出指示をして登録。(この工程の寸法を裁断する前に、裁断用紙を一旦排出させる事が出来ます。必要無ければ前述のエンターボタンのみで。)
プログラムボタン(20)を押しながらメモリーボタン(16)を押す
プログラムナンバー表示パネル(22)に「EJ」と表示されます。
最大20cm前方に移動定規が移動します。(移動時9cmより前に出る場合は9cmまで)
- 次の工程を入力する。(上に戻る)
- ※ 必要な工数を繰り返し登録してください。(99工程が登録可能です)
 - ※ 登録した工程の番号は、プログラムステップ表示パネル(23)に表示されます。
 - ※ 寸法を登録した時に、プログラムステップ表示パネル(23)に「UL」の表示が出た場合は、寸法が短すぎます。(3.5cm未満の寸法は登録できません。)
 - ※ 寸法を登録した時に、プログラムステップ表示パネル(23)に「OL」の表示が出た場合は、寸法が長すぎます。(45cm以上の寸法は登録できません。)
- ④ 全ての工程の入力が終わりましたら、「START」ボタン(15)を押すと最初の工程に戻ります。
 - ※ 「▲」(12) 「▼」(13) ボタンを押す事により、工程を確認する事が出来ます。
 - ⑤ プログラムボタン(20)を押し、その後「STOP」ボタン(14)を押してプログラムモードを終了します。
 - ※ 登録したプログラムは、電源を切った場合でも保存されます。

メモリーモードを工程に組み込む

- ① 「登録方法」を参考に寸法を入力後、メモリーボタン（16）を押します。
- ② プログラムステップ表示パネル（23）に 「 n1 」と表示されます。
- ③ 連続して裁断する回数メモリーボタン（16）を押す事により表示が 「 n1→n2→n3・・・ 」と増えていきます。（最大「 n9 」まで）
- ④ エンターボタン（21）を押して登録します。

使用方法

- ① プログラムボタン（20）を押します。
プログラムナンバー表示パネル（22）に 「 Pr 」 と表示されます。
- ② テンキーを使用し呼出したいプログラムナンバーを入力します。（01～99）
プログラムナンバー表示パネル（22）に呼出したプログラムナンバーが表示されます。
- ③ 「START」（15）ボタンを押し、最初の寸法の位置へ移動定規が移動します。
- ④ 「START」ボタン（15）を押す度に、次の寸法の位置へ移動定規が移動していきます。
※ 用紙排出指示を行っていた場合は、一旦用紙を排出後、登録した寸法に移動します。
- ⑤ 登録された全ての工程が終了しましたら、最初の工程に戻ります。
- ⑥ 全ての作業が終了しましたら、プログラムボタン（20）を押しその後「STOP」ボタン（14）を押してプログラムモードを終了します。
※ 裁断する度に用紙は必ず排出してください。用紙・本機の破損の原因となります。

プログラムモードを終了する。

プログラムボタン（20）を押し、その後 「STOP」ボタン（14）を押すとプログラムモードを終了する事が出来ます。

登録した工程の修正

- ① プログラムボタン（20）を押します。
プログラムナンバー表示パネル（22）に 「 Pr 」 と表示されます。
- ② テンキーを使用し修正したい工程が登録されているプログラムナンバーを入力します。（01～99）
プログラムナンバー表示パネル（22）に呼出したプログラムナンバーが表示されます。
- ③ 「▲」（12） 「▼」（13） ボタンを押し修正したい工程を呼び出します。
工程の番号は、プログラムステップ表示パネル（23）に表示されます。
- ④ テンキーを使用し、寸法を入力。
- ⑤ エンターボタン（21）を押して上書き登録します。

登録した工程の削除

- ① プログラムボタン（20）を押します。
プログラムナンバー表示パネル（22）に 「 Pr 」 と表示されます。
- ② テンキーを使用し削除したい工程が登録されているプログラムナンバーを入力します。（01～99）
プログラムナンバー表示パネル（22）に呼出したプログラムナンバーが表示されます。
- ③ 「▲」（12） 「▼」（13） ボタンを押し削除したい工程を呼び出します。
工程の番号は、プログラムステップ表示パネル（23）に表示されます。
- ④ プログラムボタン（20）を押したまま 「▼」ボタン（13）ボタンを押すとその工程のみ削除されます。

登録したプログラムの削除

- ① プログラムボタン（20）を押します。
プログラムナンバー表示パネル（22）に 「 Pr 」 と表示されます。
- ② テンキーを使用し削除したいプログラムナンバーを入力します。（01～99）
プログラムナンバー表示パネル（22）に呼出したプログラムナンバーが表示されます。
- ③ プログラムクリアーボタン（19）を2回押すと、そのプログラムの内容が全て削除されます。

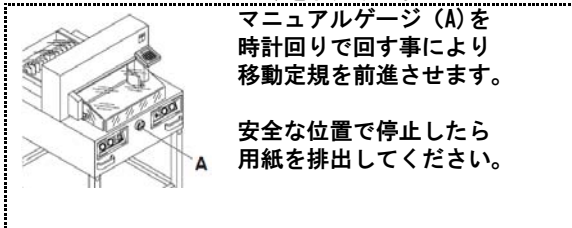
4) 用紙の排出



裁断を行った際は裁断刃の下に手を入れての用紙排出は絶対に行わないでください。

用紙の排出は下記の手順いづれかの方法を用いて行ってください。

・ マニュアルゲージ (A) を利用する。



マニュアルゲージ (A) を時計回りで回す事により移動定規を前進させます。

安全な位置で停止したら用紙を排出してください。

・ プログラムモード時の自動用紙排出

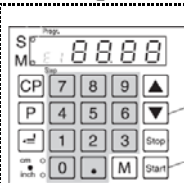
プログラムモードでは、工程に用紙排出を組み込みます。

組込み方法は、プログラムモードの

登録方法をご確認ください。

尚、プログラムモード中は「▼」ボタン (13) での用紙排出が出来ません。

・ 「▼」ボタン (13) を利用する。



寸法入力後「▼」ボタンを押すと最大20cm前方へ移動し、その後入力した位置へ移動します。(9cmより前には出ません。)

尚、下記の方法で前方へ移動する距離を変更する事が可能です。

- ① プログラムボタン (20) を押したままメモリーボタン (16) を押します。
- ② プログラムステップ表示パネル (23) に「 E J 」と表示されます。
- ③ 移動させたい寸法を入力し、エンターキー (21) を押して登録します。(初期設定は20cm)
- ④ 「STOP」ボタン (14) を押して終了。

※ 上記操作にて変更を行いますとプログラムモード時の自動用紙排出の寸法も変更となります。

5) その他

- ① 「▲」ボタン (12) 「▼」ボタン (13) に登録されている寸法変更。
通常使用時、上記ボタンを押すと移動定規が設定されている寸法に移動するボタンですがその寸法を変更する事が可能です。

・ 初期設定値

「▲」ボタン (12)	・・・	21.00cm
「▼」ボタン (13)	・・・	10.50cm

・ 変更方法

「▲」ボタン (12)
プログラムボタン (20) を押したまま「▲」ボタン (12) を押します。
プログラムステップ表示パネル (23) に「 F1 」と表示されます。
変更したい寸法をテンキーにて入力します
エンターボタン (21) を押して変更。

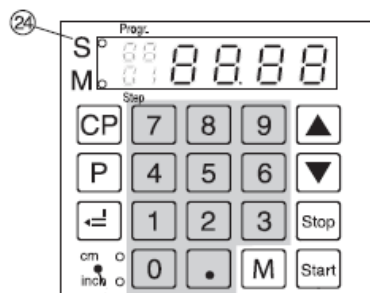
「▼」ボタン (13)
プログラムボタン (20) を押したまま「▼」ボタン (13) を押します。
プログラムステップ表示パネル (23) に「 F3 」と表示されます。
変更したい寸法をテンキーにて入力します
エンターボタン (21) を押して変更。

- ② cm/インチの切替
本機はディスプレイの表示をcm又はインチに切り替える事が可能です。(初期設定時はcm)

切替方法は、テンキー操作方法をご確認ください。

尚、プログラムに登録された寸法も、同時に切り替わります。

- ③ テンキー裁断モード表示パネル (24) について



テンキー裁断モード表示パネル (24) が

「点灯していない」・・・現在の移動定規位置の寸法

「点灯している」・・・テンキー等で入力している寸法

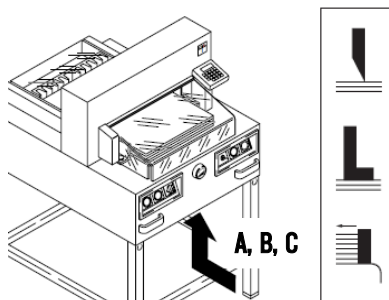
のいずれかの寸法値が寸法表示パネルに表示されております。

10 困った時には

トラブルの内容	原因	対応
切れ残りが出る 又は 部分的に切れのこる	受木の溝が深くなった	受木の面を新しい面に変えてください。
	刃先が摩耗した	裁断刃の研磨・交換をしてください。
	刃の調整が甘い	裁断刃交換・調整を参照に、再調節してください。
電源が入らない 又は 動かない	コンセントが抜けている	コンセントを差し込んでください。
	スイッチがONになっていない。	メインスイッチ・キーシリンダー2種類の電源を両方ともONにしてください。
	プロテクターが飛び出ている	電氣的・機械的の負荷がかかりますとプロテクターが飛び出ます。暫く経ってからプロテクターを押し込んでください。プロテクターは機種によって変わります。(下記プロテクター参照)
	安全装置が解除されていない。	フロントカバーの開閉を行ってください。(下記フロントカバー参照)

・プロテクター

本機には動作不良発生時又は落雷時等において負荷電流が発生した場合安全の為プロテクターが作動し、電源を強制的に遮断します。



A = 裁断刃の動作 (全機種)

B = 紙押えの動作 (CE-48FA)

C = 移動定規及びテンキー (CE-48FA)

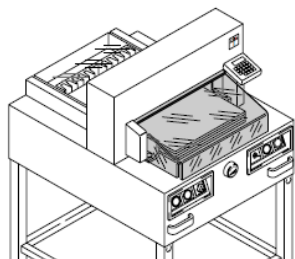
先の通り本機底面にプロテクター (A) (B) (C) がございます。(CE-4810はAのみ)

位置は、 (A) 奥
(B) 中
(C) 手前

プロテクター作動時は大きく飛び出しますので、1分間程度放置した後に、押込みます。

※ プロテクターが作動した場合、機械に何らかの異常が発生している場合がございます。お買い上げ頂きました販売店にご相談ください。

・安全カバー



本機は裁断時における作業保護の観点から、フロントカバーの開閉を正常に行わない場合、裁断が出来ません。

機械に異常が無く、裁断が出来ない場合は、下記の通り再度フロントカバーの開閉を行ってください。

- ① フロントカバーを一番下まで閉めます。(止まるまでしっかりと)
- ② フロントカバーを一番上まで開けます。(止まるまでしっかりと)
- ③ フロントカバーを再度一番下まで閉め、裁断します。

その他ご不明な点がございましたら、製品名・保証書をご確認のうえご購入された販売店、又は弊社相談窓口へご連絡ください。

■サービスについて

本取扱説明書及び「困った時には」をご確認いただいても異常がある場合にはお買い上げ頂きました販売店にご相談ください。

その際保証書をお持ちいただくか、製品名及びお客様のご連絡先を分かるようにご相談ください。

株式会社 **マイツ・コーポレーション**

〒321-0131 栃木県宇都宮市宮の内1-175

Tel: 028-653-0656

Fax: 028-653-1711

Hp://www.maitz.jp

個人情報の取扱いについて

修理等にてご登録頂きましたお客様の個人情報は弊社にて厳重に管理いたしますが、修理の為弊社委託の修理業者へ提出する場合がございます。その場合は弊社が厳重に管理いたしますのでご了承ください。

＜安全はマイツのこころ＞

2010.06.02